

< 第1分科会 年間活動報告 >

検討テーマ「少子化対策と子育て支援」

1. 「少子化対策」について

テーマに一番関わる若い人から集ってもらい、「どうすれば寺泊地域に住みたくないか」「今、寺泊で必要なこと」「自分たちで出来ること」を議題として、6月8日の第1回目若者会議から合計3回意見を交わしてきた。

意見を交わす中、寺泊全地域が参加できるイベントとして、平成29年10月末に竣工予定の多目的運動広場を活用し、各地区から住民が集まるスポーツフェスティバルを開催する方向性となり、計画を立てていくための組織を立ち上げることとした。

組織メンバーに7人の名前があがり、リーダーとして上荒町の木村勝一氏が選ばれた。今後は木村氏が中心となって会議を開き、計画を進めていくこととなった。

第1分科会としては、若者に主体を任せて、サポートに徹する関わり方とし、時々若者たちと話をする機会を設けていくこととする。

2. 「子育て支援」について

現在、おおこうづ保育園の中に子育ての駅「にこにこ」がある。児童クラブも大河津側だけのため、寺泊側にも児童クラブが欲しいとの声を聞く。子育ての拠点を新しく設けて環境を整えてほしいということで、本山・白岩・寺泊の保育園を一緒にして、児童クラブの設置も含めて施設整備を望む声も出ている。

また、若者会議の中でも、おおこうづ保育園のような施設が出来れば、保護者も小学校入学前から他地域との交流が出来るとの声が出た。

第1分科会として、それら地域の声を長岡市へ要望するため、保育園の統廃合による子育ての環境整備を地域委員会に提言する。